

記者資料提供（2025 年 9 月 8 日）

デザイン・クリエイティブセンター神戸（KIITO）辰村、大泉

TEL | 078-325-2235 FAX | 078-325-2230 E-mail | info@kiito.jp

KOBE
CITY of DESIGN



KIITO:

【LIFE IS CREATIVE FESTIVAL ラ・フェス 2025】

タイのゲームデザイナーとあそびの可能性を探るトークイベントを開催

神戸市の都市戦略「デザイン都市・神戸」の拠点施設である「デザイン・クリエイティブセンター神戸（KIITO）」では、社会貢献活動の活性化や創造性を育むさまざまな活動に取り組んでいます。この取り組みの一環として、次のとおりワークショップとトークイベントを開催いたします。

トークイベント

「学んでつながる、新しいゲームの可能性」

ラ・フェス

LIFE IS CREATIVE FESTIVAL 2025

2025.10.12(Sun.) 11:00 ~ 13:00

デザイン・クリエイティブセンター神戸では、「LIFE IS CREATIVE FESTIVAL ラ・フェス 2025」の開催に合わせて、タイのゲームデザイナー、プレイ・アクティビスト（遊び活動家）であるラッティゴーン・ウッティゴーンさんを迎え、トークイベント「学んでつながる、新しいゲームの可能性」を開催します。

ラッティゴーンさんは、環境問題や防災などのさまざまな伝わりづらい課題をテーマにしたゲームの開発やワークショップをタイ国内のみならず、ドイツやインド、ネパール、中国などでも実施してきました。

トークイベントでは、防災教育の普及にラッティゴーンさんと取り組んできたセンター長の永田をモデレーターに、ラッティゴーンさんがこれまでに行われた幅広い活動を紹介しながら、ゲームの可能性を探ります。

あそび・ゲームを活用したコミュニケーションや地域での活動に興味をお持ちのみなさまのご参加をお待ちしております。

【概要】

件名：トークイベント「学んでつながる、新しいゲームの可能性」※逐次通訳（日・タイ）あり

日時：2025 年 10 月 12 日（日）11:00～13:00

会場：デザイン・クリエイティブセンター神戸（KIITO）1F ギャラリーA

参加費：無料 定員：30 名程度（要事前申込、先着順）

ゲスト：ラッティゴーン・ウッティゴーン（ゲームデザイナー、プレイ・アクティビスト）

モデレーター：永田宏和（企画、プロデューサー/KIITO センター長）

申込方法：ウェブサイト（<https://kiito.jp/>）からお申込みください。

申込期間：9 月 5 日（金）15:00 から KIITO ウェブサイトにて申し込み開始。

主催：デザイン・クリエイティブセンター神戸

お問合せ | デザイン・クリエイティブセンター神戸 広報担当

住所 | 兵庫県神戸市中央区小野浜町 1-4 開館時間 | 9 時～21 時 休館日 | 月曜（祝日または振替休日の場合はその翌日）

WEB | <https://kiito.jp/>

【講師プロフィール】



ラッティゴーン・ウッティゴーン（ゲームデザイナー、プレイ・アクティビスト）

工業デザインを学んだおもちゃ・ゲームデザイナーであり、Club Creative Ltd. の創設者。

「プレイ・アクティビスト（遊び活動家）」として、おもちゃやゲームを単なる遊び道具ではなく、社会の発展につながる教育的なツールとして位置づけている。社会課題に楽しさや競争の要素を取り入れることで、タイ国内外の政府機関や NGO と協働し、プレイヤーが問題の根本原因を理解し、実践的な解決策へとつながるゲームを制作している。

【モデレータープロフィール】



永田宏和（企画、プロデューサー/KIITO センター長）

1968 年兵庫県生まれ。1993 年大阪大学大学院修了後、大手建設会社勤務を経て、2001 年「iop 都市文化創造研究所」を設立。2006 年「NPO 法人プラス・アーツ」設立。2012 年 8 月よりデザイン・クリエイティブセンター神戸（KIITO）の副センター長、2021 年 4 月よりセンター長を務める。主な企画・プロデュースの仕事に、「水都大阪 2009・水辺の文化座」「イザ！カエルキャラバン！」（2005～）「地震 EXPO」（2006）「ちびっこうべ」（2012～）「EARTH MANUAL PROJECT 展」（2013～）などがある。

【ゲストによる活動の様子】



【「LIFE IS CREATIVE FESTIVAL 2025」とは？】

高齢社会における「クリエイティブな人生の作り方」を専門家や参加者とともに考えてきた「LIFE IS CREATIVE」。その視点をさらに広げ、すべての世代が参加できる「みんなでつくる」プロジェクトを紹介する、KOBE デザインの日記念イベントです。